



平成24年度「科学技術週間」参加行事
科学技術週間実施期間 平成24年4月16日(月)～4月22日(日)

平成24年度科学技術週間標語

「わあ ぼく こんなに みつけたよ かがくのたね」

パート1
講演

ことばの カラクリ

～脳に広がる
言語のしくみと加齢～

自立促進と介護予防研究チーム 研究員 佐久間 尚子

パート2
研究所見学

日時

平成24年 4月20日^金

13時30分～16時30分
開場 12時30分予定

会場

板橋区立文化会館 小ホール
(当日先着180人、申込不要、入場無料)
東京都板橋区大山東町51-1
東武東上線「大山駅」徒歩3分
都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩7分



お問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター広報普及係
03-3964-3241 (内線 3008)

<http://www.tmig.or.jp/>



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

東京都健康長寿医療センター研究所
(東京都老人総合研究所)



ことばのカラクリ

パート1 講演

～脳に広がる 言語のしくみと 加齢～

言いたいことばがとっさに出ない。人の名前が思い出せない。こんな経験はありませんか。生まれてこの方、たくさんのことばを覚えて(その数は数万語とも十数万語とも言われます)、いとも簡単に使っていたのに、年を重ねるにつれて、ことばが思い出せなくなる。

言語は高齢になっても保たれる機能と言われていますが、この「喚語困難」と呼ばれる現象は健康な人でも加齢とともに増えていくようです。ことばの意味と音(発音・読み方)は脳の別々の場所で処理されていますが、脳が老化すると、その連絡がうまくいかなくなると考えられています。それでは、脳の老化に対処する方法はないのでしょうか。いえいえ、ことばの機能を鍛え、ことばの老化に挑戦する新たな取り組みもあります。

今回は、これまでの研究からわかった言語のしくみと加齢の影響、そして新たな挑戦についてお話ししたいと思います。

自立促進と介護予防研究チーム 研究員

佐久間 尚子

パート2 研究所 見学

当日講演会受付時に、
先着順で申込を
受け付けます。
高齢者ブレインバンク、
プロテオーム等のメニューを
予定しております。

- ・ 研究所見学をご希望の方は当日講演会会場で受け付けます。お電話での予約は受け付けておりません。
- ・ 申し込みは、開場と同時に先着順で受け付けます。各研究室の見学の定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・ お申込みできる研究室は1人1か所です。複数のお申し込みはできません。
- ・ 参加できない方は小ホールで引き続きミニ講演を行いますのでご参加下さい。